



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2019年3月5日]

第102回映画大使「サムライマラソン」[PG12]

- ・ 期日 平成31年2月28日(木曜日) ※公開1週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

『超高速！参勤交代』の原作・脚本で知られる土橋章宏が、日本のマラソンの発祥と言われる史実「安政遠足」を題材に執筆した小説「幕末まらそん侍」を原作に、『アンナ・カレーニナ』のバーナード・ローズ監督が映画化した歴史ドラマ。

平凡な侍の姿を装っているが、幕府のスパイとして藩に潜入している忍び唐沢基内役を、『るろうに剣心』『亜人』など数多くの作品に出演を果たす佐藤健が演じる。その他、遠足を命じる藩主・勝明役に長谷川博己、父である勝明に反発し藩を出ようとする雪姫役の小松菜奈、雪姫を手に入れようとする傲慢な侍・辻村平九郎役の森山未來、誰もが認める俊足の足軽・上杉広之進役の染谷将太、幕府大老・五百鬼祐虎役の豊川悦司など、日本を代表する豪華キャスト陣が脇を固める。

スタッフとしても、バーナード監督の他にも、『ラストエンペラー』のジェレミー・トーマスや『おくりびと』の中沢敏明が企画・プロデュースを手がけ、音楽を『めぐりあう時間たち』のフィリップ・グラス、衣装デザインを『乱』のワダエミが担当するなど、世界的なメンバーが参加している。

長きにわたり鎖国してきた日本に、アメリカから海軍総督ペリーが黒船でやって来る。そのころ、安中藩では、「優勝者はどんな願いでも叶えられる」という夢のような大会が行われ、さまざまな思いの侍達が参加した。しかし、大会の最中とある行き違いにより安中藩はとり潰し危機に直面する。迫りくる危機に立ち向かうために一致団結し、勝つためではなく守るために走る姿を迫力の音楽と独特の映像で描き出す。



(C) "SAMURAI MARATHON
1855" FILM Partners

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ とにかく面白くて、楽しかったですね！
- ★ 夢中で観ていました！
- ★ 佐藤健さんの立ち回りがかっこよかったですね！
- ★ 立ち回りや、遠足のシーンが観ていてスカッとなりましたね！
- ★ 想像していた以上にハラハラドキドキしながら観ていましたね！
- ★ 楽しくて、あっという間でして、「あれ、もう終わってしまうの」という感じでした！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

とにかく面白くて、楽しかったですね。

ちょうど今朝のニュースで、日本で初めてマラソンに出られた方の直筆の書が出てきたと報じられていました。オリンピックに参加して、その後は学生に短距離と長距離を教えていたという事が書かれていたという事でした。体操着を着た学生に囲まれた集合写真も出てきたとの事でした。このニュースを観ていたので、その事と今回の作品がつながりました。

遠足(とおあし)は、遠足(えんそく)の始まりなのかなとも思いましたね。私は、遠足の語源を知りませんので、そう思ってしまいましたね。

若い人たちが情熱をかけて、チャンバラ(立ち回り)するのもいいなと思いました。見事な演技でしたしね。

走り方や、立ち回りもかっこいいなと思いました。走り方はとてもスマートで綺麗でしたね。

チャンバラというのは面白いなと思いましたし、命がけの走りをした時には画策をするものだなと思いました。人間の心の動きを映像にしていますが、人間はいろいろな事を考えますね。人間には、あのようなずるさもあるものだなと思いながら観ていました。

夢中で観ていましたね。

Bさん

森山未来さんや佐藤健さんが出演していましたね。佐藤健さんは『るろうに剣心』でも立ち回りをされていて、座っての立ち回りはその作品の中でもされていたなと感心しながら観ていました。その姿がかっこよかったですね。

服装や履物、さらに刀を差して走る事は大変だろうなと思いました。昔の人が走るという事は随分過酷だったのだろうなと思いつつ観ていましたね。

小松菜奈さんは、モデルである事は知っていましたが、私は彼女が演技をしているところを初めて観ましたが、「かわいくて演技も上手なのだ」というのが印象でした。

立ち回りや、遠足のシーンが観ていてスカッとしましたね。

Cさん

想像していた以上にハラハラドキドキしながら観ていたというのが第一印象でした。

圧倒的に佐藤健さんと竹中直人さんの存在感が際立っていたと思いましたね。佐藤健さんは、『るろうに剣心』の役柄とかぶってしまっていて、「かっこよすぎるだろう」という感じがしまして、この役にぴったりだなとも思いました。

このマラソン大会は、今年も5月12日に開催される事が決まっています。ホームページに掲載されていましたが、この作品のような遠足から現在までずっと続いているのは凄いなと思いましたね。今は盛り上がりを見せているようで、仮装をして走るようでした。自分がどのような仮装をするのか申告して走るようです。仮装に対する賞も用意されているようでした。そのような、盛り上げているマラソン大会になっていくのだなと思いつつ観ていましたね。今は楽しいマラソン大会とは逆で、昔は山道をあのような服装とわらじで、さらに山の上に登っていくわけなので、いかに過酷であり、大変だったのだろうなとも思いつつ観ていました。

Dさん

私は時代劇が好きでして、楽しみにしていましたが、最後まで楽しく観させていただきました。

この作品の中で、子どもが走っていましたが、凄いなと思いましたね。新選組にも、同じように小さい子が父の形見の長い刀などをもって京都から入間まで歩いて、そこで荷物を一時置いて江戸まで歩いたという事があったようでした。そのように子どもが、とことん成し遂げるということは、今の子どもにも見習ってほしい事ですね。

みんなが、命令をされる事なく一丸となって何かのために行動する事はいいなと思いました。

日本人らしさが、表現されていたシーンがありましたね。

この作品は、立ち回りのシーンに真剣さを感じ、リアルなところもありましたので、時代劇が好きの方はぜひ観て、幕末の時代を堪能していただければと思いますね。

Eさん

自分の町(藩)などを守るため向かっていく姿や、敵の方への敬意の示し方などは良かったですね。

佐藤健さんの身のこなしや刀さばきは、素晴らしいなと思いました。

山が綺麗でしたね。

Fさん

最初のマラソンはこんな感じなのかなと思いましたね。

Gさん

楽しくて、あっという間でして、「あれ、もう終わってしまうの」という感じでしたね。配役もみんな個性的で素晴らしいですし、役に合っていました。

お姫様も強いなと思いましたね。強い人に憧れます。

立ち回りのシーンは、本当にあんな感じだったのだらうなと思いました。本当に生きるか死ぬかですよ。

今日、群馬の友人とあったのですが、その友人が「この作品は群馬の話で、今でも仮装して走っているよ」と言っていたので、その事を考えながら観ていました。

殿様を支えようとする気持ちが素晴らしいと思いましたね。

Hさん

朝ドラの『まんぷく』のまんぷくらーメンの萬平さんが別のタイプの役をしていたなと思いました。

キャスティングが凄いなと思いましたし、どこでロケをしているのだらうと思いながら観ていましたね。

走る事の凄さや、人間が素晴らしいな感じましたね。

佐藤健さんは、やはり凄いなと思いました。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

・小松菜奈さんはいつもと違う役柄をされていましたね！

・漫画チックな感じがしますね！

・ワダエミさんが衣装デザインを担当されていますね！

まとめ

この作品は、史実「安政遠足」を題材に土橋章宏が執筆した小説「幕末まらソン侍」をもとに映画化された作品であり、バーナード・ローズ監督がメガホンを取ったことにより、今までの時代劇とは違うものになっています。

また、現在も続くマラソン大会の発祥の話を題材にしている事から、2020年に行われる、東京オリンピック・パラリンピックの公式プログラムにもなっている作品でもあります。

ジェレミー・トーマスやフィリップ・グラス、ワダエミなどアカデミー賞の受賞歴がある世界的なスタッフが集結し、キャストも佐藤健、森山未來を始めとした日本を代表する若手俳優、豊川悦司などのベテラン俳優が担当おり非常に豪華です。

大使のからも話がありましたが、佐藤健の立ち回りの素晴らしさや、全体的な立ち回りの真剣さやリアルさが際立つ作品でもあります。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.